

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ブラムだいすき		令和 8年 3月 6日				
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>十分なスペースを確保している。</li> <li>活動に十分な部屋数を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内に多目的に使える広めの部屋があるとベストチョイスだった。</li> </ul>
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>職員は、規準定数以上に配置している。</li> <li>職員は、常に子どもたちの活動を見守れるように配置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より良いサービス提供ができるように、公共職安へ職員募集の働きかけをしている。</li> </ul>	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援室入り口に段差はない。</li> <li>各支援室の入り口に表示している。</li> <li>バリアフリー化はされていないが、子どもたちが生活したり遊んだりするのに支障は見受けられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般住宅のため、ポーチ、石段、玄関、トイレ、階段はバリアフリー化されていない。</li> <li>活動に際しては、常に見守りと危険防止に努める必要がある。</li> </ul>	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日、子どもたちの受入れ前後に、清掃、整理整頓に努めている。</li> <li>定期的に各部屋、取っ手、教材、遊具の消毒をしている。</li> <li>支援室は5室用意してある。子どもたちがそれぞれの活動に合わせて使用できるようにしている。</li> <li>支援室は、子どもたちが選択して使えるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所内に多目的に使える広めのスペースがあるとベストチョイスだった。</li> </ul>	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の支援室があり、分かれている。</li> <li>居場所、活動の場所を選びやすくなっている。</li> <li>関係性の良くない子ども同士にとっては、刺激を減らせる作りになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の支援室がある。活動中の利用児から目を離さないうで見守れるように、各部屋に職員の配置が必要である。</li> </ul>	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝のミーティングで話し合うようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の活動記録簿に気付いたことも、その都度、記入していくと良い。</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝のミーティングで話し合うようにしている。気になることも早期に解決できるように話し合っている。</li> <li>定期的に職員との個別面談の機会を設けている。</li> </ul>	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者による外部評価は行っていない。</li> <li>委員の選考が難しい。</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>研修に参加する機会を与えてもらえる。</li> <li>研修は出張として、費用は法人が負担している。</li> <li>受講後は伝達講習会を設けて情報の共有化を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>期日や曜日、時間帯によっては研修に参加できない時もある。</li> </ul>
環境・体制整備	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>支援の内容、方法を高めていけるとよい。</li> </ul>

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	・医療機関や児童発達支援センターでの発達検査等の結果を、保護者から提供を受けて参考にしている。 ・毎日の観察、記録、打合せでの振り返りで確認している。	・事業所として、標準化されたツールを用いたアセスメントは行っていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・月の行事や季節の行事、長期休業中の体験活動は、職員間で話し合って決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・リトミック教室やパステルアート教室などを、外部講師を招聘して開催している。 ・長期休業中は、体験を重視した活動を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・子どもの特性に合わせて個別活動や集団での活動を企画・立案して支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・午後からの勤務なので、打合せには参加していない。連絡事項は職員から伝達を受けている。 ・伝言板を使うなど、情報の共有化に努めている。	・フル、パートタイムの就業状況によらず、職員間における情報の共有化に努める必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・毎朝、前日の振り返りと当日の打合せを行って確認をしている。	・利用児によっては利用後の送りがあるために、当日中の職員打合せはできない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・個人活動記録簿を作成して、日々の記録と支援内容の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
関係機関や	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・日々の些細な日常活動から自己選択、自己決定の機会を設けるように配慮している。	・自己選択・自己決定を促すような意図的な支援を全職員が意識できるように支援力を高めていく必要がある。 ・自己選択力が向上できるように支援の内容や場を計画的に設けていけるとよい。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	・管理者・児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4	・利用している子どもについて、学校との連携会議をお願いしている。 ・地区の包括センターと情報共有をお願いしている。 ・発達検査等を含めた利用児の関係機関からの情報は、保護者からいただいている。	・関係機関との直接的、積極的な連携体制はとっていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・必要に応じて直接、事業所から行ったり、学校から確認・連絡をもらったりすることがある。 ・必要に応じて、学校との情報共有の場を設けている。 ・利用している子どもについて、学校との連携会議をお願いしている。	・下校時刻の確認と連絡は、基本的には保護者からもらっている。 ・学校との連携、連絡・調整が難しい時もある。 ・学校からの情報共有に不足しているところがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・利用予定の児が小学校へ入学する前に、小学校・保護者・就学前に利用していた幼稚園・児童デイ等が参加して情報を共有する会議を設けるように依頼している。	

保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移行支援計画等の作成準備はしている。</li> <li>・該当者が発生したら対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ、該当者がいない。</li> <li>・今後、必要になってくると思われる。</li> </ul>
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、利用児が就学前に利用していた児童デイや発達支援センターから情報を得ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センター等と積極的に連携体制をとってはいない。</li> </ul>
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公園等で活動する際に、居合わせた子どもたちと一緒に活動している。</li> <li>・公共の児童施設を定期的に利用している。</li> <li>・系列の「プラムしあわせ」との合同の活動機会がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の児童クラブや児童館と積極的に交流の機会は設けていない。</li> <li>・交流活動を実施する場合は、事前に十分な打ち合わせと計画をたてて行う必要がある。</li> </ul>
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知があった時は職員が参加している。</li> </ul>	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内のあった研修会等は、増し刷りをしてお知らせをしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングは行ってない。</li> <li>・家族参加の行事や研修会は行ってない。</li> <li>・家族が参加しやすいように、土・日・祝日に行事を行うことは、勤務上難しい。</li> </ul>
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・父母の会は設置していない。</li> </ul>
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が傾聴に努め、迅速に対応するようにしている。</li> </ul>	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPや配付物で発信に努めている。</li> <li>・保護者との連携については、毎日の連絡帳を活用している。</li> </ul>	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類はシュレッダーで処分したい。</li> </ul>
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の一部の住民とは交流をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的、積極的な交流はしていない。</li> </ul>
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な避難訓練の実施。</li> <li>・マニュアルに対して定期的に確認と見直しを実施している。</li> </ul>	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始前のアセスメント時に保護者から情報の提供、確認をしている。</li> <li>・症状や投薬量にも変化があった場合は、速やかな情報の提供をお願いしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・てんかん発作時の対応訓練、動きや流れの確認を全職員で行えると不安が軽減できる。</li> </ul>

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用を開始する前のアセスメント時に、保護者へ有無の確認をしている。</li> <li>・医師から対応指示のある該当者はいない。</li> <li>・保護者からの申出に対応している。</li> <li>・変化があった時には、速やかな情報提供をお願いしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のところ対応の必要な該当者はいない。</li> <li>・該当者が出た場合は、必要な対応をする。</li> </ul>
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全確保に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用中は施設するなど、子どもの安全確保へ向けた対応が必要ではないか。</li> </ul>
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全確保に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画や取り組みについて、家族へ十分に説明をしていく必要がある。</li> <li>・支援計画の見直しの折など、定期的に保護者へ確認をしていく。</li> </ul>
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内での共有を図るように、職員への啓発と報告を促している。</li> </ul>	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			